



ポスター展示会場



第12回学術総会学会賞表彰式

市民公開講座1は喜田宏先生に「鳥、ブタ、そしてパンデミックインフルエンザ」、市民公開講座2はノンフィクション作家の柳田邦男先生に「進む医療と2.5人称の視点」、市民公開フォーラムでは「みんなで防ごう医療事故」と題して、引き続き柳田邦男先生の基調講演と2つの講演が行われました。医療事故は本学会での最重要テーマの一つで、医療事故の両方の立場から貴重なお話をいただきました。

一日目の夜に会員懇親会として、キリンビール園にてジギスカンと余興としてよさこいチームによる演舞を楽しんでいただきました。最後には会場全体でよさこいを踊るといふ大盛り上がりの内に懇親会を終え、ご参加いただいた皆様の笑顔をスタッフ一同でお見送りできたことを嬉しく思います。

今回の学術総会では、今までになく多くの企画を立ち上げ、新たな試みとして、学会賞(ポスター部門5演題、クリティカルパス部門2演題)を設け閉会式にて表彰をいたしました。会期中は司会や座長の方々のご努力によりこのテーマに沿って熱く有意義な討論が行われましたことを、お世話いたしました者にとって大変うれしく思っております。

本学術総会のポスターには123年前の1877年札幌農学校の教頭だったクラーク博士が教え子たちと別れる時の銅像の写真を使わせていただきました。この時の教え子たちへの言葉「Boys, be ambitious!!」はあまりに有名ですが、今回討論された「チームでめざすこれからの医療」をとくに若い医療者が「大志をいだいて」引き続き取り組んでいかれるよう念願しております。

最後に、熱心にご討論いただいたご参加の皆さんや学会開催の準備や設営・運営などに関わった多くの皆さんに深く感謝申し上げます。来年また京都でお会いしましょう。ありがとうございました。



秦会長へ宮崎理事長からの感謝状の授与

第11回学術総会会長賞を受賞して

東邦大学医学部社会医学講座助教 藤田 茂

このたびは、思いがけず第11回学術総会会長賞を受賞することになりましたが、まずは私どもの論文を選んでくださった第11回日本医療マネジメント学会学術総会会長の米倉正大先生と理事長の宮崎久義先生および関係者の方々に、心から御礼申し上げます。今回の受賞を励みとして、今後とも努力を続けて行きたいと思っております。

さて、有害事象の的確かつ効率的な把握は、医療安全のためにも重要であり、多くの医療者が希求しながらも完全には果たせていないものであろうと考えます。本研究はその解を求めべく実施し一定の成果が得られましたが、カルテレビューには依然として多大な労力が必要である点には変わりなく、課題が残されました。現在、香川大学の平尾智広先生を中心とした研究グループが実証研究に取り組んでいるトリガーツールがその解決策になることを期待しております。

なお、私どもの「診療記録のレビューにより有害事象を的確かつ効率的に把握するための研究」は、共著者に名を連ねる先生方および調査にご協力いただいた医療機関の多大なるご支援のもとで論文化されました。末筆ですが、併せてこれらの関係者の方々にも御礼申し上げます。



第11回学術総会会長賞を授与される藤田 茂氏